



OK たより

大西勝彦

活動報告

No.89

2022年7月
大府豊幸会
(事務局)刈谷市宝町8-1
豊田自動織機組合会館est内



大府市議会議員
大西勝彦

物価高 対策は？

みなさん、こんにちは。大府市議会議員の大西勝彦です。5月に臨時議会、6月に定例議会が開催されました。補正予算が上程され、新型コロナウイルス感染予防対策や燃料価格・物価の高騰に対する生活支援対策が審議されました。また、6月議会でも一般質問に立ちました。「心身ともに知恵と愛を持つ児童生徒を育てるために」というテーマで、きらきら教育と平和教育について、執行部の考えを質しました。是非、ご一読下さい。



大西勝彦ホームページ
<http://www.medias.ne.jp/~onishi/>

補正予算の内容

☆ 新型コロナワクチン4回目接種

対象者は、3回目接種後、5カ月を経過した60歳以上の方、18歳以上の基礎疾患をお持ちの方および医師が重症化リスクが高いと判断した方です。予診票を、3回目接種後、5カ月を経過した方から順次発送しています。(5月23日～)
予診票が手元に届いた方から順次接種予約できます。(5月25日～)

☆ 子宮頸がん予防接種費用助成

子宮頸がん予防接種の積極的勧奨の差し控えにより、定期接種対象期間を過ぎて任意接種として自費で接種を受けた方へ、接種費用の助成を行います。

☆ 低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金(子ども1人につき5万円)

国の総合緊急対策である「低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金」(子ども1人につき5万円)について、5月中旬に支給を開始しました。
児童扶養手当受給者分 5月20日～
住民税非課税世帯等分 6月3日～

☆ 水道料金の基本料金の無償化

原油・石炭・天然ガスの価格の世界的な高騰により、電気・ガス料金が上昇しています。市民の生活基盤である光熱水費全体の上昇を緩和するため、令和4年9月検針分から半年間の基本料金を無償化します。

☆ プレミアム付商品券の販売

対象は、市民、市内在勤・在学者。
販売額は、1冊5,000円(額面6,000円 中小店券2,000円+大規模共通券4,000円)で、1世帯5冊まで。
事前予約は7月から、使用期間は、令和4年9月3日から令和5年1月31日まで。

☆ eスポーツプロジェクト業務委託

eスポーツ拠点施設を設置し、市民が気軽にeスポーツに参加できる環境を整備します。
eスポーツを通じて、高齢者、子ども、若者など多世代交流を図ることを目的とします。



大府市の二つの都市宣言

大府市には、二つの都市宣言があります。「健康づくり都市宣言」と「平和都市宣言」です。この二つの都市宣言では、まちづくりの中心価値を「健康」と「平和」としています。

健康づくり都市宣言

健康は、私達一人ひとりにとってまた、家庭・社会にとって最大の財産であり、豊かで活力に満ちた生活を営むための最も重要な基礎となる共通の願いである。心身の健康は、自分で守り、つくるものであるという自覚のもとに、市民の体力づくりや保健活動の向上を目指す必要がある。ここに全市民の総意・総力を結集して長寿社会に向けて「健康づくり都市」を宣言する。

昭和62年3月



大府市役所前の健康広場には、二つの都市宣言の石碑が設置されています。

平和都市宣言

緑香るにぎわいの中、子どもたちの笑い声が響き、汗流し働く若者の姿や地域で活躍する元気な高齢者の姿が目映るまち、健康都市おおぶ。大府市は、戦争のない平和な社会のもと、健康都市づくりに取り組み、着実な歩みを続けています。

世界の恒久平和は、人類共通の願いであり、日本国憲法の普遍の原理です。しかし、今なお世界各地で、核兵器の保有、テロ行為、武力紛争などの平和を脅かす様々な問題が起きています。

先人から引き継いだかけがえのない平和のバトンを守り、次の世代の子どもたちにしっかりと渡していくことは、今を生きる私たちの果たさなければならない重大な責務です。私たち大府市民は、一人ひとりの命を大切にし、核兵器、テロ行為などの脅威のない平和な社会の実現を強く訴えます。

日本国憲法の公布から70年目の節目の年に、恒久平和とあらゆる争いのない社会の実現を願い、ここに「平和都市」を宣言します。

平成28年9月27日

6月議会 一般質問

※本会議の様子は、大府市議会ウェブサイトのインターネット録画中継でご覧いただけます。

大府市幼保児小中連携教育の指針「きらきら」の定着を・・・

(大西)

大府市幼保児小中連携教育の指針「きらきら」をさらに定着させるための今後の進め方はどのようにするのか。

(宮島 教育長)

「きらきら」教育の概要及び「きらきら10」の更なる周知に向けて、次のような三つの取組を進めている。一つ目として、幼保児小中連絡会議において周知状況に関する情報交換と対策を検討する。二つ目として、「きらきら」教育の概要及び「きらきら10」について、区長会や民生児童委員の会合、各小学校区のネットワーク会議において説明と協力依頼をする。三つ目として、学校や保育園等の職員による説明や、学校だより等により保護者への周知を図る。今後も、**まちぐるみ**による子どもたちの育成を求め続けていく。

きらきら 10

1. 命を大切にします
2. 思いやりのある行動をとります
3. お互いの良さを認め合います
4. 夢や希望をもちます
5. 自ら学びます
6. 健康づくりに努めます
7. より良い生活習慣を身に付けます
8. ルールを守ります
9. マナーを身に付けます
10. あいさつで心豊かに過ごします

中学生平和大使派遣事業は 平和教育そのもの・・・

(大西)

ウクライナへの侵略戦争が起きている今、大府市は**平和都市宣言**をした自治体として、いち早く避難民の支援を開始するなど平和都市としての存在感を強めている。そんな平和都市の教育委員会として、改めて考えてみてほしい。**中学生平和大使の報告会**を**全中学校**で実施する考えはあるか。

(浅田 教育部長)

報告会の実施については、**学校ごとで判断してもらう**ことになる。ただし、教育委員会としても、本事業を通じて生徒が学んだことを、ぜひ校内の同世代の仲間達に伝えてもらいたいと考えているので、各校には、他の生徒にも伝えていく機会を設けてもらうようお願いしていきたいと考えている。

(大西)

中学生平和大使は、その体験を大府市の全中学生に伝えるべきだ。これこそが平和教育だと考える。中学生平和大使は**全中学校から派遣されるべき**と考えるが、見解は。

(浅田 教育部長)

平和大使の派遣事業については、市内に在住の中学2年生を対象に募集を行っており、応募者の中から市職員が選考をして、派遣する平和大使を決定している。市民から広く募集をするため、各学校からの応募数も異なるうえ、私立中学校に通う生徒からの応募もある。教育委員会としても、**全中学校の枠を決める方法ではなく**、平和について意欲的に学び、そして市内に広く伝えていくことができる生徒を選考する方法で実施していただきたいと考えている。

(大西)

中学生平和大使派遣事業を中学校の**カリキュラムの中で平和教育**として取り上げる考えはあるか。

(浅田 教育部長)

市内小中学校では、学習指導要領を踏まえながら、児童生徒の発達段階に応じて平和に関する内容を取り扱う教育計画案となっており、これを基に各校の校長がカリキュラムを決定している。その中に、「中学生平和大使事業」そのものを取り込むことは**教育課程の時間内では難しい**と考えている。

中学校2年生全員を沖縄へ派遣したらどうか・・・

(大西)

例えば、**東海市の沖縄体験学習**のように、**中学校2年生全員**沖縄を訪問して、自然学習や平和について学ぶということをやれば、各校で平和報告会もやらなくていいし、各校から中学生平和大使を選考しなくてもいい。野外教育活動を兼ねて実施すれば、教育委員会の所管にもなる。現在の**大府市で行っている中学生平和大使事業**を、東海市のような**沖縄体験学習**に変えることを検討してみてもどうか。

中学生平和大使派遣事業の目的は、戦争の悲惨さや平和の尊さを次世代につないでいくことだ。その目的を達成するために、この事業を発展させ、**中学校2年生全員を沖縄へ派遣**することを提案する。

健康と平和、二大都市宣言をした大府市だからこそやるべき事業であるということを申し上げ、一般質問を終わる。